

# 2017年3月期 決算補足説明資料

---



株式会社アドバネクス

2017年5月11日

本資料は2017年3月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、予告なしに変更されることがあります。

1. 2017年3月期連結業績概要
2. 通期連結業績予想

# 1. 2017年3月期連結業績概要

# 1-1. 2017年3月期連結業績概要

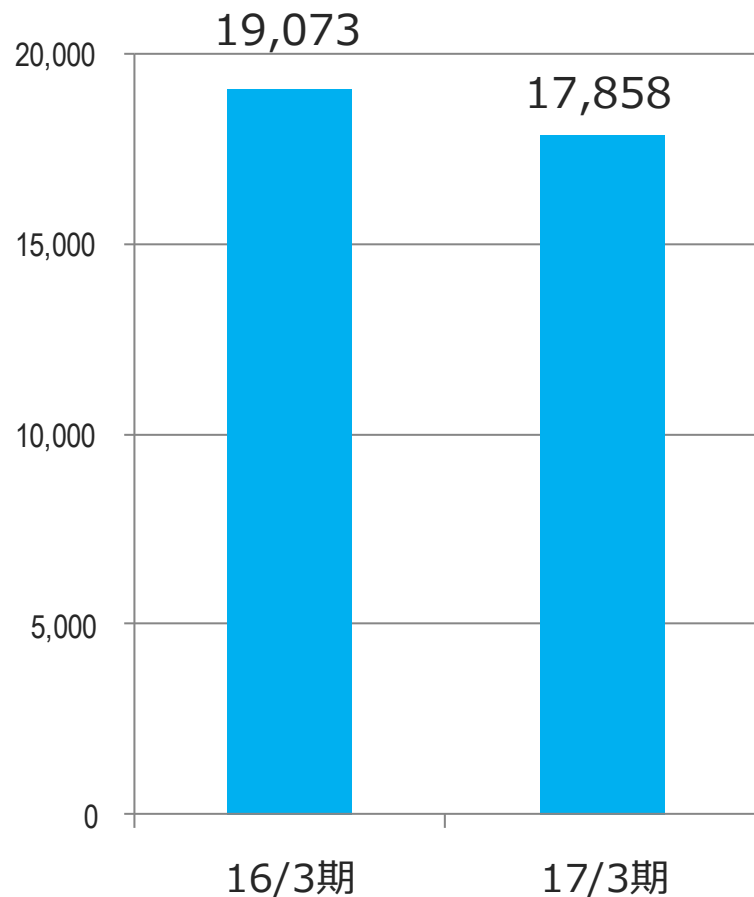
(単位：百万円)

	2016年3月期	2017年3月期	前期増減	
			額	率
売上高	<b>19,073</b>	<b>17,858</b>	<b>△1,214</b>	<b>△6.4%</b>
営業利益	<b>668</b>	<b>247</b>	<b>△421</b>	<b>△63.0%</b>
営業利益率	<b>3.5%</b>	<b>1.4%</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
経常利益	<b>671</b>	<b>346</b>	<b>△325</b>	<b>△48.4%</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	<b>587</b>	<b>67</b>	<b>△520</b>	<b>△88.6%</b>

- ◆ 売上高は、自動車向けが拡大したものの、円高（ドル安・ポンド安）の影響と、OA機器向けの減少等により前期比減収
- ◆ 営業利益は、アジアが収益改善した一方、円高による押下げ\*<sup>1</sup>に加え、新工場\*<sup>2</sup>の立上げによる固定費増加などにより前期比減益
  - \*<sup>1</sup>為替による営業利益への影響度：US\$が1円円高=△13百万円/年
  - \*<sup>2</sup>埼玉工場、メキシコ第2工場、アメリカ第2工場、PT.Yamakou Indonesia
- ◆ 経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益も同様に前期比減益

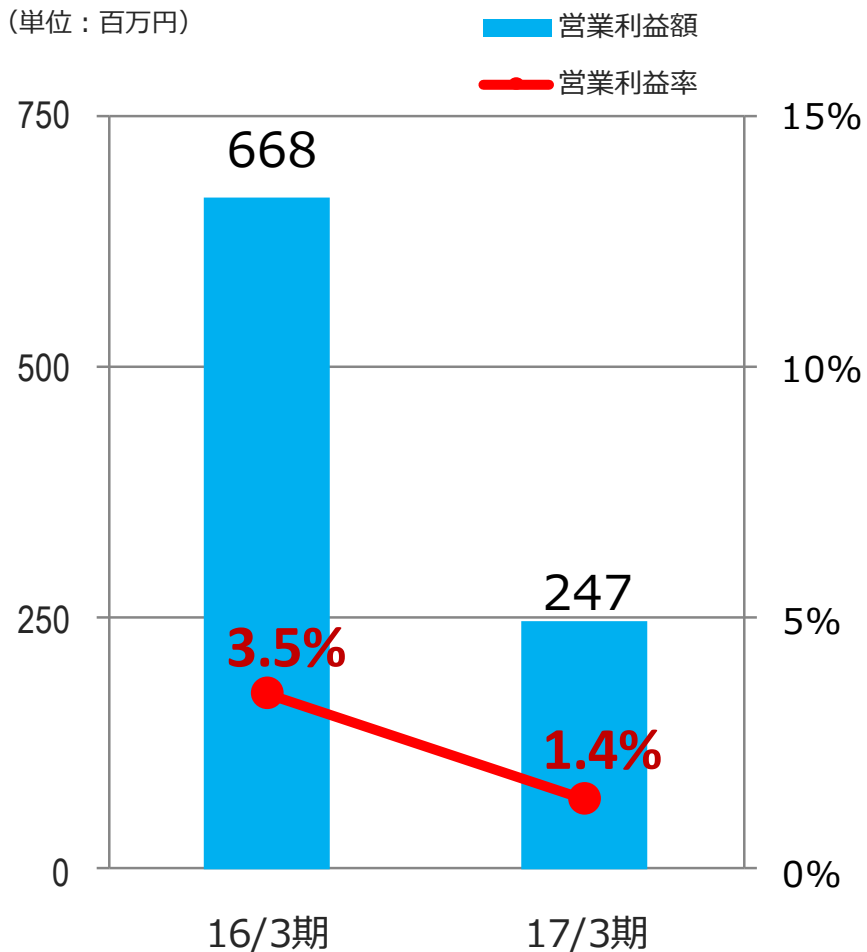
## 売上高

(単位：百万円)



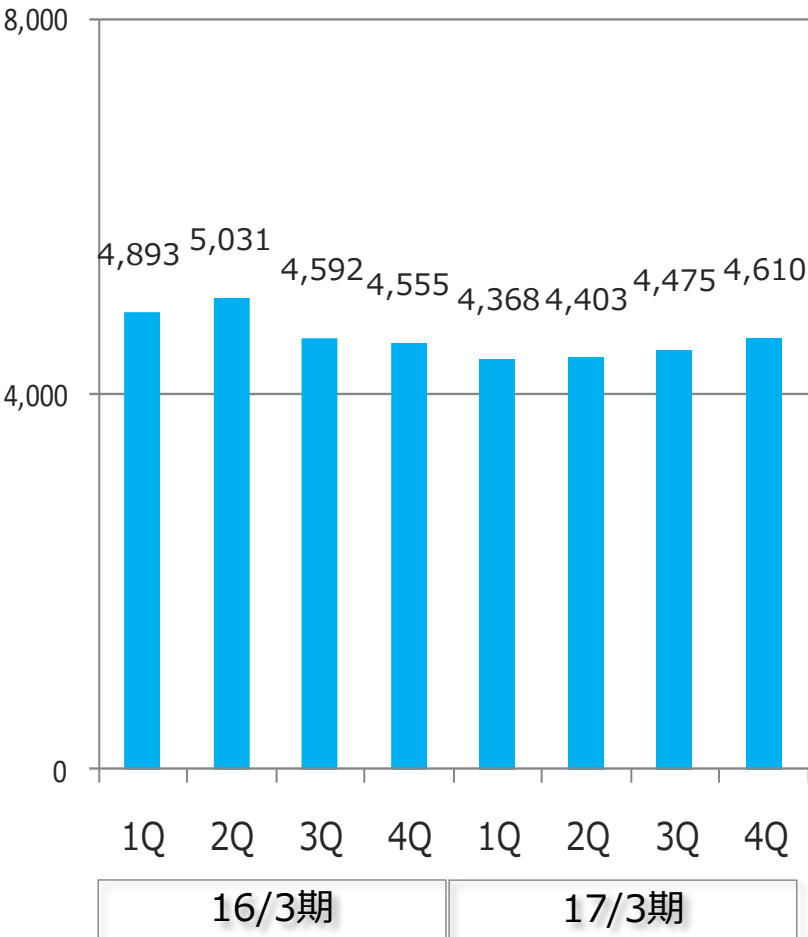
## 営業利益/営業利益率

(単位：百万円)



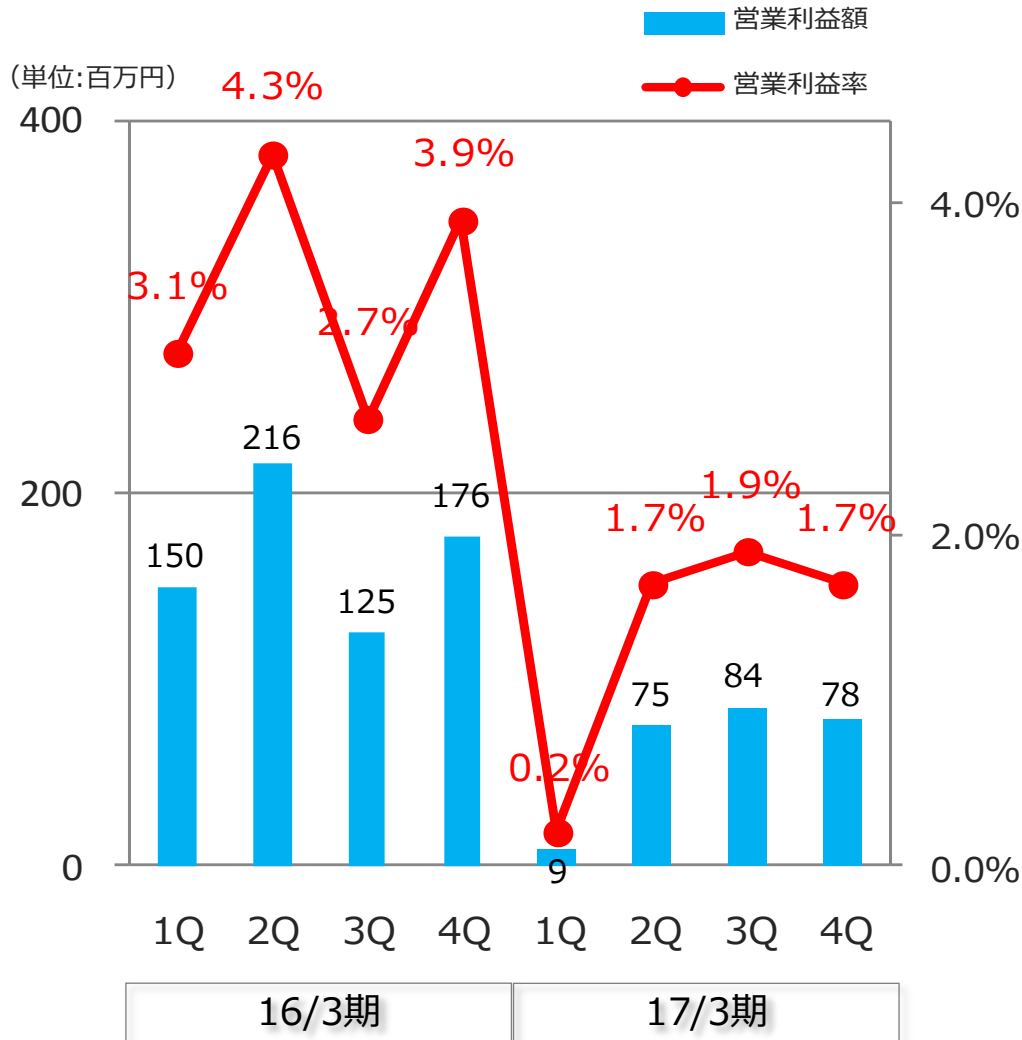
## 売上高

(単位:百万円)



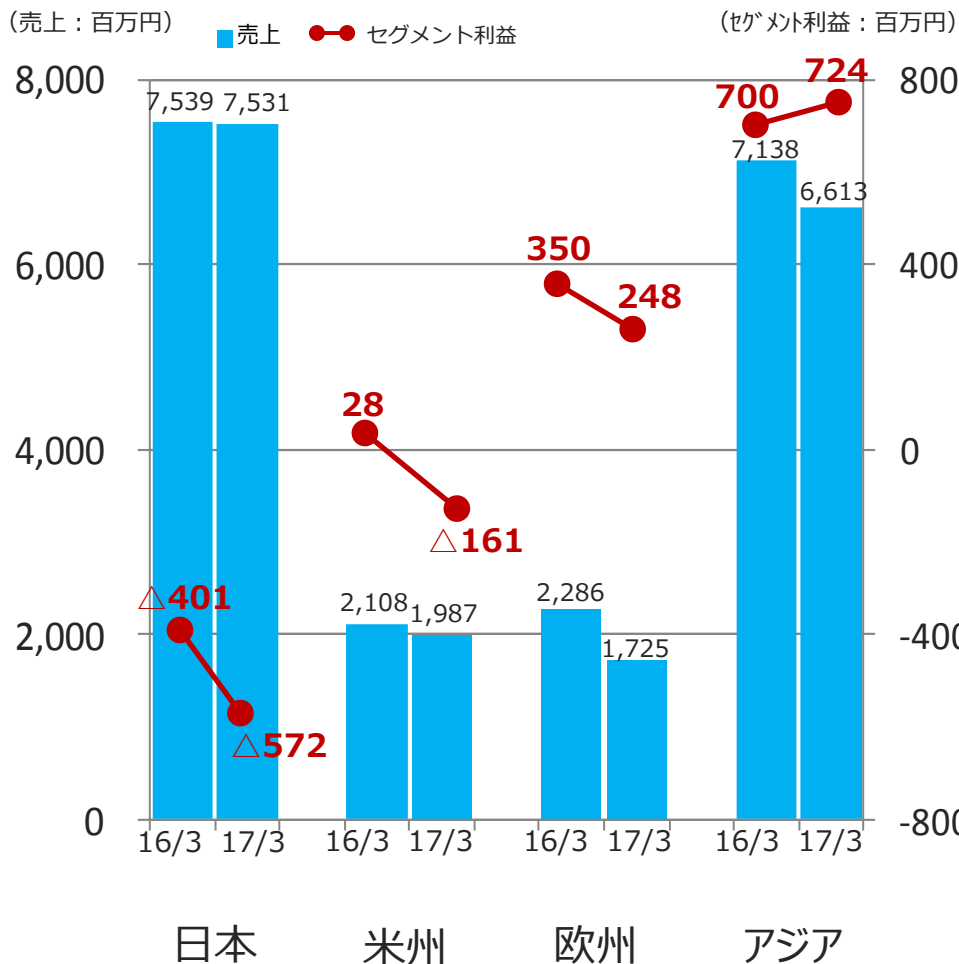
## 営業利益/営業利益率

(単位:百万円)



# 1-5. 所在地別売上高・セグメント利益

## 売上高・セグメント利益



## 前期からの変動要因

### 日本 売上:7,531百万円、セグメント利益:△572百万円

- 自動車向けは好調に推移したもののOA機器向けが減少したほか、埼玉工場の立上げにかかる固定費・経費の増加等により減収減益

### 米州 売上:1,987百万円、セグメント利益:△161百万円

- 円高の影響、およびメキシコ第2工場・アメリカ第2工場の立上げにかかる固定費・経費の増加等により減収減益

### 欧州 売上:1,725百万円、セグメント利益:248百万円

- 円高の影響のほか、医療向けが減少したことなどにより減収減益

### アジア 売上:6,613百万円、セグメント利益:724百万円

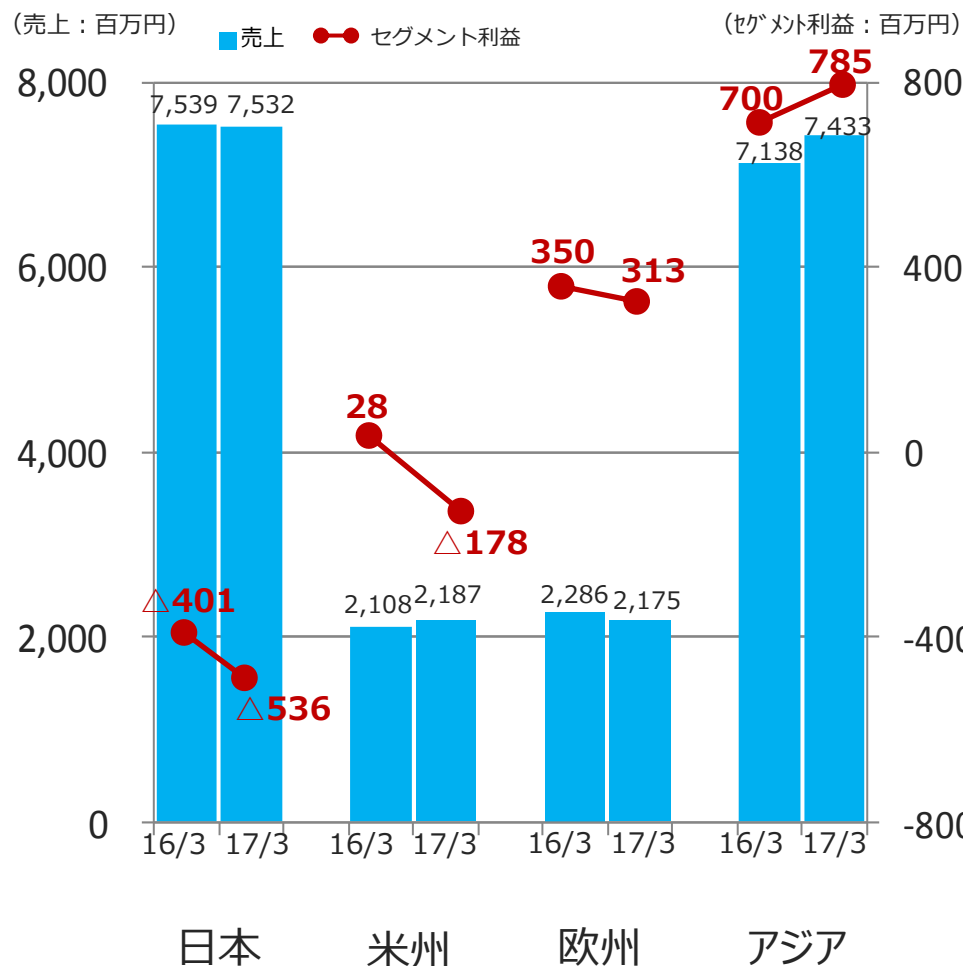
- 円高の影響により減収となった一方、タイの収益が大幅に拡大したほか、中国の収益性改善の取組みが奏功したことで増益



17年3月期実績を前期のレートで換算 (1US\$=120.2円) した場合

売上高・セグメント利益

前期からの変動要因



**日本** 売上:7,532百万円、セグメント利益:△536百万円

- 自動車向けは好調に推移したもののOA機器向けが減少したほか、埼玉工場の立上げにかかる固定費・経費の増加等により減収減益

**米州** 売上:2,187百万円、セグメント利益:△178百万円

- 精密機器向けが好調に推移し増収となった一方、メキシコ第2工場・アメリカ第2工場の立上げにかかる固定費・経費の増加等により減益

**欧州** 売上:2,175百万円、セグメント利益:313百万円

- 医療向けが減少したことなどにより減収減益

**アジア** 売上:7,433百万円、セグメント利益:785百万円

- 自動車向けが好調に推移し、また、タイの収益が大幅に拡大したほか、中国の収益性改善の取組みが奏功したことで増収増益

# 1-6. 連結市場別売上高

(単位：百万円)

	16年3月期		17年3月期		増減	
	売上	構成比	売上	構成比	額	増減率
自動車(輸送機器)	6,984	36.6%	7,278	40.8%	294	4.2%
OA機器	4,186	21.9%	3,631	20.3%	△555	△13.3%
医療機器	1,794	9.4%	1,290	7.2%	△503	△28.5%
精密機器	1,183	6.2%	1,144	6.4%	△39	△3.3%
住設機器	910	4.8%	832	4.7%	△78	△8.6%
PC・周辺機器	634	3.3%	558	3.1%	△76	△12.0%
AV・家電	539	2.8%	537	3.0%	△2	△0.4%
航空機器	634	3.3%	519	2.9%	△115	△18.1%
携帯情報端末	509	2.7%	246	1.4%	△263	△51.7%
その他	1,700	8.9%	1,823	10.2%	123	7.2%
合計	19,073	100.0%	17,858	100.0%	△1,214	△6.4%

16年3月期レート： 1 US\$ = 120.2円

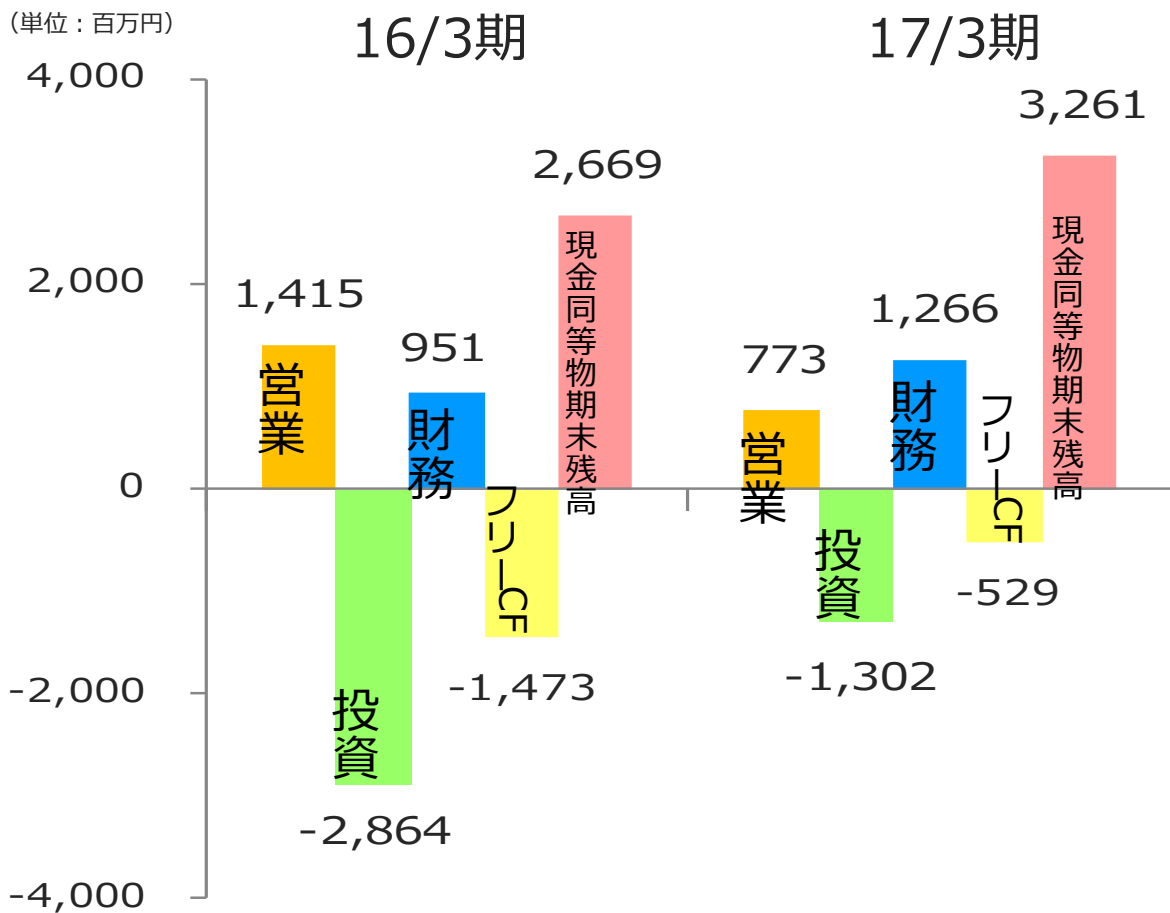
17年3月期レート： 1 US\$ = 109.2円

17年3月期実績を前期のレートで換算  
 (1US\$=120.2円) した場合

(単位：百万円)

	16年3月期		17年3月期		増減	
	売上	構成比	売上	構成比	額	増減率
自動車(輸送機器)	6,984	36.6%	7,812	40.4%	827	11.8%
OA機器	4,186	21.9%	3,842	19.9%	△344	△8.2%
医療機器	1,794	9.4%	1,506	7.8%	△287	△16.0%
精密機器	1,183	6.2%	1,231	6.4%	48	4.1%
住設機器	910	4.8%	890	4.6%	△21	△2.3%
PC・周辺機器	634	3.3%	582	3.0%	△52	△8.2%
AV・家電	539	2.8%	591	3.1%	52	9.7%
航空機器	634	3.3%	638	3.3%	4	0.6%
携帯情報端末	509	2.7%	255	1.3%	△254	△49.9%
その他	1,700	8.9%	1,980	10.2%	280	16.4%
合計	19,073	100.0%	19,327	100.0%	254	1.3%

## キャッシュフロー推移



## 前期からの変動要因

### 営業活動によるCF

減価償却費による資金留保等により  
資金が**773百万円増加**

### 投資活動によるCF

埼玉工場やメキシコ第2工場の  
設備投資などにより  
**1,302百万円減少**

### 財務活動によるCF

配当金支出の一方、  
銀行からの借入れ等により資金が  
**1,266百万円増加**

## 2. 通期連結業績予想

## 2. 2018年3月期通期業績予想（連結）

（単位：百万円）

	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (予想)	通期増減	
			額	率
売上高	17,858	20,000	+2,142	+12.0%
営業利益	247	400	+153	+61.8%
営業利益率	1.4%	2.0%	-	-
経常利益	346	380	+34	+9.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	67	240	+173	+257.1%

注) 為替レート的前提は1US\$100円としています。

ADVANCEX

(お問い合わせ先)

株式会社アドバネクス  
総務部広報IR課

TEL : 03 - 3822 - 5865

Email : [tsutomu\\_kumaki@advanex.co.jp](mailto:tsutomu_kumaki@advanex.co.jp)

URL : <http://www.advanex.co.jp>